

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome ; SAS）外来



～ 睡眠時無呼吸症候群（以下 SAS）はどのような疾患なのでしょうか？ ～

睡眠中に呼吸が止まり、睡眠障害をきたすだけでなく、日常生活・仕事や学力などに支障をきたし、さらには様々な疾患との関連や自動車事故、労働災害などとの関連も指摘され、社会的な問題としても注目されている疾患です。

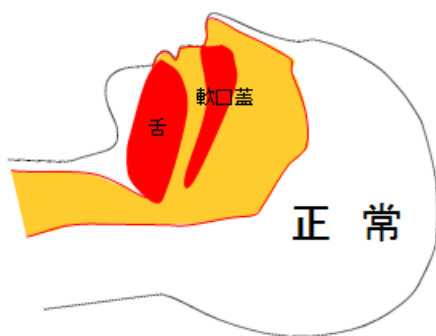
関連する疾患

無呼吸が毎晩起こることで、心臓・血管系の病気や多くの生活習慣病と関連することが指摘されています。特に、心臓・血管系の病気では、高血圧症との関連、狭心症・心筋梗塞などの冠動脈疾患や脳卒中の発症にも関係しています。また、居眠りによる交通事故や、仕事の作業能率低下、性格上の変化との関連も指摘されています。

・ 日中の眠気・大きないびき・起床時の頭痛・睡眠感がない

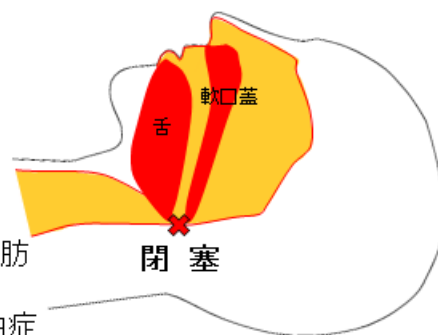
症状

自覚症状がないことが多く、いびきや無呼吸を御家族やベッドパートナーに指摘・発見されることも珍しくありません。また夜間に何度も目が覚めるため、睡眠の量と質が低下し、自覚症状として日中の強い眠気や居眠りや、口やのどの渇き、慢性的な疲労感、集中力の低下、起床時の頭痛をきたすこともあります。



原因

- ・舌が大きい
- ・小顎症
- ・首周りの脂肪
- ・舌根沈下
- ・鼻中隔湾曲症
- ・扁桃肥大アデノイド
- ・軟口蓋沈下



睡眠時無呼吸症候群状態

原因

睡眠時無呼吸症候群は、中枢性と閉塞型に分類されます。中枢性は、呼吸を制御している脳の問題で生じます。閉塞型は 睡眠中に空気の通り道である気道が閉塞してしまうため、呼吸ができなくなってしまいます。その原因の一つは肥満です。全体の約 60%に見られます。しかし日本人の場合にはやせていても下顎が小さい方や扁桃腺が大きい人、高齢者は来しやすいといわれています。

当院での外来診療の流れ

1. お問い合わせ・予約制

診察・検査は完全予約制です。

(診察日：毎週水曜午後)

まずはお電話・外来窓口にてご予約ください。

☎ 042-752-1808 (代表)

内科外来内線 1212

2. 外来初診・簡易検査 (簡易 PSG 検査)

問診票の記入・医師の診察・検査機器の説明を行います。

(翌日返却です。)

3. 外来再診・簡易検査結果説明

機器返却後、データ解析し診察となります。

PSG 検査結果の説明を行います。

SAS と診断された場合には、さらに精密検査 (入院) が必要です。

検査・入院予約、外来再診予約を行います。

4. 精密検査 (精密 PSG 検査) 入院一泊二日

(水) 午後 15 時入院～(木) 午前 10 時退院

または

(木) 午後 15 時入院～(金) 午前 10 時退院

5. 再診・治療

精密検査の結果説明と、重症度の判定から、適切な治療をお勧めします。

2016.5 月